

<令和 8 年 6 月 定例記者会見>

1 開催日時

令和 8 年 6 月 4 日（木）午前 10 時 30 分～午前 11 時 00 分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、岩手日報社、朝日新聞、NHK 盛岡

4 発表事項

（１）滝沢総合公園に整備した新しい遊具について（河川公園課）

滝沢総合公園にインクルーシブの要素を取り入れた新しい遊具を整備し、お披露目を開催することといたします。この遊具は、公園利用者の満足度の向上を図り、市民の生活環境の向上に寄与することを目的に、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により整備したものです。

当日は鵜飼保育園の園児 20 名程度をお招きし、新しい遊具で実際に遊んでもらう予定です。子供たちの楽しく遊ぶ姿を取材いただければと思います。

（２）令和 8 年度チャグチャグ馬コ行事について（観光物産課）

本年度のチャグチャグ馬コ大行進を 6 月 13 日（土）に開催いたします。

出馬頭数は 66 頭（昨年は 62 頭）を予定しており、チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部からは装束馬 42 頭（昨年は 39 頭）が参加の予定です。鬼越蒼前神社を 9 時 30 分に出発し、盛岡八幡宮を目指します。

昨年度のチャグチャグ馬コでは、18 万 9 千人という過去 3 番目の人出を記録しました。この地域の文化が高く評価されたものと理解しており、多くの注目を集めていることに高く期待しております。

チャグチャグ馬コには、愛馬の無病息災を願う人々の祈りが込められています。現代の街並みと歴史ある馬事文化・愛馬精神が融合する「チャグチャグ馬コ」を、ぜひ多くの方々に見ていただければと思います。

なお、前日 12 日（金）にはチャグチャグ馬コ写真撮影会が、当日にはビッグルーフ滝沢にてふれあいまつりが開催されます。詳細については、別紙のとおりです。

また、ふれあいまつりの会場において、チャグチャグ馬コの継承を目的とするクラウドファンディングの寄附を直接受け付けるブースを出展いたします。

クラウドファンディングは 7 月 6 日（月）までの受付となっておりますので、人と馬とが一緒に築いてきた風景を後世に残すため、引き続き皆様の温かい御支援をよろしくお願いいたします。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：チャグチャグ馬コについて、昨年は 18 万 9 千人の来場ということですが、今年の人出の見込みがあれば教えてください。

市長：過去最大を記録したのはコロナ明けの時期で、22 万 3 千人を超える人出があったと記憶しています。その時に、沿道の方々から「ありがとう」と声を掛けていただい

たことが今でも印象に残っています。こうした伝統文化を披露することで、そのような言葉をいただけるのは大変ありがたいことだと感じています。今年についても、まずは多くの方々に来ていただきたいと思いますのですが、人出については当日の天候に左右される部分が大きいと思っています。チャグチャグ馬コは、馬を飼っている方、装束を持っている方、そして参加してくださる方々がいて初めて成り立つ祭りです。滝沢市だけではなく、関係する地域が一緒になって守ってきた行事ですので、今年も多くの方に足を運んでいただき、鈴の音や行列の魅力を感じていただければと思っています。

記者：チャグチャグ馬コ当日の交通規制について教えてください。

経済産業部長：詳細については別途資料をお渡ししますので、そちらをご確認いただければと思います。

記者：昨年よりも出馬頭数が増えましたが、増えた要因があれば教えてください。

経済産業部長：馬を増やしていくために、滝沢市だけではなく、関係する団体や馬主の皆さんと連携しながら取り組みを進めてきました。市の所有馬についても、生まれた馬を希望する方に譲渡し、育てていただいております。そうした取り組みの中で、少しずつ頭数の確保につながってきていると感じています。ただ、単に馬の数が増えればよいということではなく、行事を支える人や担い手がいてこそ継承されていくものです。馬主の皆さんとの信頼関係を築きながら、みんなで祭りを続けていきたいという思いで取り組んできたことが、今の増加につながっているのではないかと思います。出馬頭数が最大の時には110頭ほど出ていた時もあります。昔のようになにげわいを少しでも取り戻そうということで、関係者全員で頑張ってきたところです。

記者：今年初めてチャグチャグ馬コに出馬する馬はいますか。

経済産業部長：現時点では確定していませんが、毎年、親馬と一緒に子馬が歩く姿が見られます。今年もそういった様子が見られる可能性はあると思います。子馬と一緒に歩く姿は来場者の皆さんにも大変親しまれています。

記者：行進ルートについて、昨年との変更点がありますか。

経済産業部長：行進ルートは昨年と変更ありません。

記者：雨天の場合でも実施しますか。

経済産業部長：基本的には雨天でも実施する予定です。ただし、雷や強い雨など、安全な行進が難しい場合には、状況を見ながら判断することになりますので、安全面を最優先にしながら対応していきたいと思っています。

6 その他記者からの当日質問

記者：県内では中東情勢の影響で各業界からさまざまな声が聞かれますが、市内でも商工会や建設、塗装、医療関係などからそういった声は上がっていますか。

市長：教育関係では、プールの消毒薬が手に入りにくいという声や、塗装関係や医療関係などからも、さまざまな影響が出ているという声を伺っています。市としても、ガソリン価格の上昇などを受けて、市長会として国に要望活動を行いました。今後についても、市民の生活や事業活動にどのような影響が出てくるのかをしっかりと見ながら、商工会、農業関係者、公共交通を担う方々など、さまざまな声を聞いて対応していきたいと考えています。物価高騰だけでなく、物そのものが不足することで企業活動そ

のものに影響が出ることも懸念されますので、その点も含めて国などにしっかり伝えていきたいと思っています。

記者：今後、予算対応や事業所向けの支援などの検討はされるのでしょうか。

市長：市単独でできることには限りがありますので、まずは必要な要望を精査していきたいと考えています。その上で、どのような支援策が示されるのかを見極めながら、市として対応を検討していくことになると思います。

経済産業部長：物価高騰に対する支援については、もともと対応を考えていた部分もありますが、物が手に入らないという状況になると、単なる価格の問題ではなく企業活動そのものに影響が出てきます。そうしたことも踏まえながら、農業や中小企業への支援も含めて必要な対応を考えていきたいと思っています。